

3Dデータを“触って学ぶ”講習会、初回は函館で開催！

～建設現場での活用を想定し、点群処理や3次元設計データ作成を実習形式で学ぶ～

北海道開発局では、地域を支える建設業の健全な発展を後押しするため、働き方改革の実現と、生産性向上に向けた取組を行っています。

このたび、インフラDX・i-Construction推進のため、ICT建機に inputs する3次元設計データや出来形管理資料（ヒートマップ）作成の基本操作を学びたい方を対象に令和8年度「3Dデータ活用講習会第1回」を下記のとおり開催します。

本講習会は、PCを用いたハンズオン形式の実習により、3Dデータの基本的な取扱方法を習得することを目的としています。第1回を皮切りに、7月（札幌2回）、12月（釧路）、1月（旭川）と順次開催し、全5回を予定しています。

【3Dデータ活用講習会第1回概要】

- 開催日時 令和8年6月16日（火） 10:00～16:20
- 開催場所 函館市勤労者総合福祉センター サン・リフレ函館 大会議室
（函館市大森町2番14号）
- 開催内容 別紙-1～4のとおり
- 定員 30名
- 取材 事務局（札幌第1合同庁舎17階機械課）または会場（函館市勤労者総合福祉センター サン・リフレ函館 大会議室）での取材を希望される報道関係者の方は令和8年6月15日（月）12:00までに「会社名」「氏名」「連絡先」「取材希望場所」を明記の上、下記アドレス宛てにお送りください。
【送付先】hkd-ky-ict_kikai(at)gxb.mlit.go.jp ※(at)を@に置き換えてください。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

事業振興部 機械課 建設情報・施工高度化推進官 林 朋幸（内線 5394）

上席専門官 小笠原 敦司（内線 5634）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



国土交通省 北海道開発局 主催 建設現場におけるICTの活用に関する講習会のご案内

CPDS認定

3Dデータ活用講習会（道内各所で全5回） 第1回：6/16（火） 函館市大森町（サン・リフレ函館）

※本講習会の内容は、実際に3Dデータを作成・編集・解析するソフトを操作しながら、3Dデータの作成・活用方法を学習するものです。

・下記カリキュラムをご覧になったうえで、受講をご検討ください。開催案内は次頁以降です。

【カリキュラム】

建設システムのソフトを使用します。

- ・SiTE-Scope
- ・SiTECH3D
- ・SiTE-NEXUS
- ・SiTE-STRUCTURE

(1) 3次元データの概要説明

3次元データの各種類（3次元モデル・点群データ等）について、基本的な定義や活用方法など、座学にて説明を行います。

(2) 3次元点群データ処理・活用【SiTE-Scope】

ICT活用工事における3次元点群データの処理方法や、3次元設計データと合わせて点群を活用した数量算出の方法など、基本的な操作方法を、主に実習にて説明を行います。

(3) 3次元設計データ作成（土工形状モデル）【SiTECH3D】

土工の3次元設計データの作成について、出来形管理における面管理やICT施工にかかる留意点を踏まえながら、実習にて説明を行います。

(4) 3次元設計データ作成（構造物モデル）【SiTE-STRUCTURE】

構造物の3次元設計データの作成について、はらみ厚等の品質管理・寸法や建築限界の確認等の施工管理にかかる留意点を踏まえながら、実習にて説明を行います。

【進捗状況により内容の変更がございます。】

(5) BIM/CIM 統合モデル作成【SiTE-NEXUS】

上記で作成したモデルの統合・簡単な活用方法を、実習にて説明を行います。

(6) 3次元モデルの活用【SiTE-NEXUS】

測量やAR、施工シミュレーション等、施工管理にかかる活用方法を、実習にて説明を行います。

【進捗状況により内容の変更がございます。】

3Dデータ活用講習会

第1回：函館（道内各所で全5回）

※本講習会の内容は、実際に3Dデータを作成・編集・解析するソフトを操作しながら、3Dデータの作成・活用方法を学習するものです。

◆日 時：令和8年6月16日（火） 10:00～16:20

PCの操作体験

参加費無料

定員30名

CPDSの認定講習

※使用ソフトは、第1回（函館、6/16（火））：建設システム、第2回（札幌、7/16（木））：福井コンピューター、第3回（札幌、7/17（金））：建設システム、第4回（釧路、12/3（木））：建設システム、第5回（旭川、1/12（火））：福井コンピューター です。

【本ご案内は、第1回のご案内です。各回のご案内は、催事1か月前程度を予定しております。】

※複数回参加された場合においてもCPDS（5ユニット）の申請は1回分となります。

※講習は、主催側にて用意したPCを使用して行います。

【時間割】

[6/16] 《屋内PC操作実習》

※実習の進捗に応じ、適宜、小休憩が入ります。

建設システムのソフトを使用します。

- ・SiTE-Scope
- ・SiTECH3D
- ・SiTE-NEXUS
- ・SiTE-STRUCTURE

- | | |
|-------------------------|-------------|
| (1) 受付 | 9:40～10:00 |
| (2) 開催挨拶・注意事項説明 | 10:00～10:10 |
| (3) 3次元データの概要説明 | 10:10～10:30 |
| (4) 3次元点群データ処理・活用 | 10:30～11:10 |
| (5) 3次元設計データ作成（土工形状モデル） | 11:10～12:40 |
| 昼休憩（60分） | |
| (6) 3次元設計データ作成（構造物モデル） | 13:40～14:40 |
| (7) BIM/CIM 統合モデル作成 | 14:40～15:10 |
| (8) 3次元モデルの活用 | 15:10～16:10 |
| (9) 質問・アンケート回答 | 16:10～16:20 |

※アンケート回答用にスマートフォンが必要となります。後日の回答や、貸出スマートフォンによる回答も可能ですが、ご持参いただけますと幸いです。

主な対象者

施工会社

建設コンサルタント・測量会社

経験者

■ ICT活用工事講習会 (ICT施工管理編) (実習)

【対象者】ICT機器の機能を概ね理解しており、実際の活用方法を知りたい方

【内容】

- ・ICT活用工事の施工・施工管理の一連の作業を実習形式で学ぶ
- ・使用機器：レーザースキャナ、TS、UAV、GNSS、モバイル端末、点群処理ソフト、MGバックホウ（小規模）・MGバックホウ（中・大規模）



■ 3Dデータ活用講習会 (実習 (PCを使ったハンズオン形式))

【対象者】ICT建機に入力する3次元設計データや出来形管理資料（ヒートマップ）作成の基本操作を学びたい方

【内容】

- ・3Dデータ(BIM/CIMモデルや3次元設計、点群)の基本的な取扱方法を、PCを用いてハンズオン形式で実習
- ・ハンズオン実習内容：3次元設計データの作成、3次元点群データの処理、3次元設計データと点群データの重ね合わせ・土量算出、出来形管理資料（ヒートマップ）作成



■ インフラDX・i-Constructionセミナー (対面・WEB併用)

【対象者】ICT活用講習会 (Web) 等でICT活用工事の概要を理解している方

【内容】

- ・今年度の国交省のICT関連施策の概要を説明
- ・トップランナー企業によるICTを効果的に活用した現場実例の紹介



【ステップアップ】

より詳しくICT活用工事での活用方法を知りたい。

初心者 (ICT施工未経験者等)

■ ICT活用工事講習会 (ICT機器操作編) (実習)

【対象者】ICTの実機に触れて操作を学びたい方

【内容】

- ・ICT活用工事や「3次元計測技術を用いた出来形管理要領」についての概要を講習
- ・ICT機器の基本的な操作方法を実機を使いながら講習
- ・使用機器：レーザースキャナ、TS、UAV、GNSS、モバイル端末、点群処理ソフト、MGバックホウ（小規模）・MGバックホウ（中・大規模）



【ステップアップ】

ICT機器を実際に操作してみたい。

【ステップアップ】

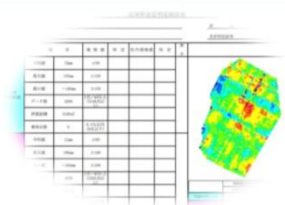
3次元設計データ作成の部分より詳しく学びたい。

■ ICTデータ活用講習会 (WEB講習)

【対象者】これからICT活用工事の実施をご検討中の方

【内容】

- ・ICT活用工事の基礎知識と、施工・出来形管理に使えるICTの基礎知識
- ・要望の高い工種について、ICT技術の活用方法を具体的に紹介
- ・3Dデータ作成・納品データ作成方法をデモ



ICTへの習熟度

